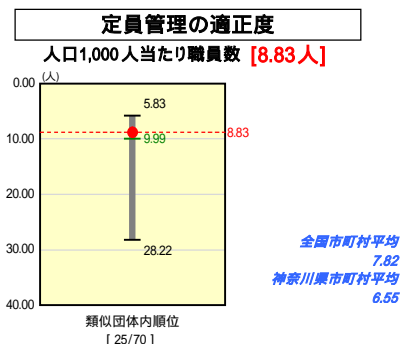
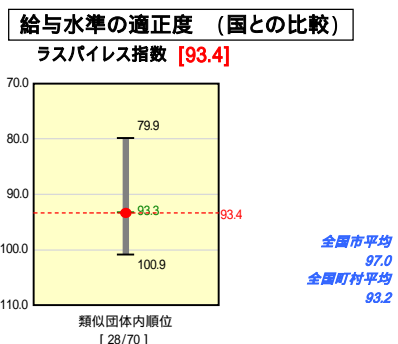
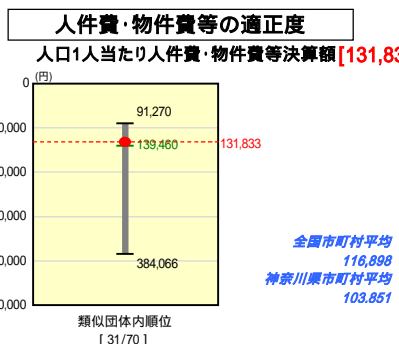
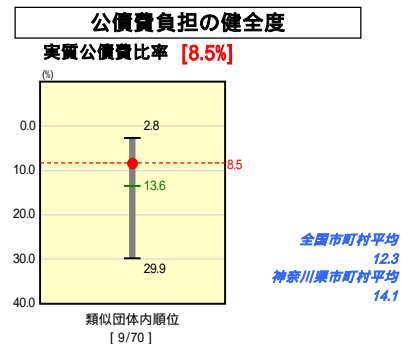
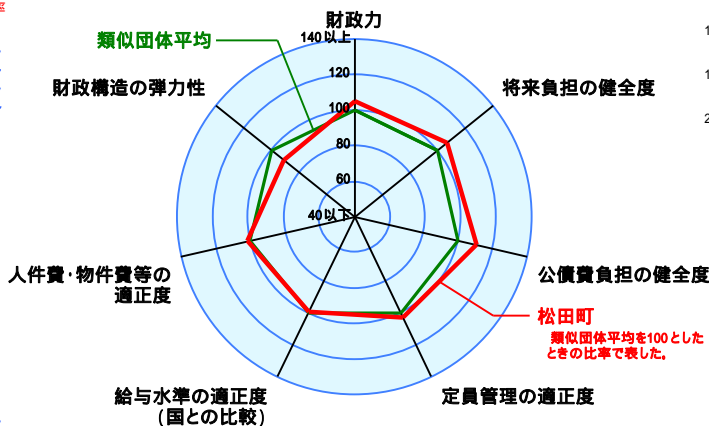
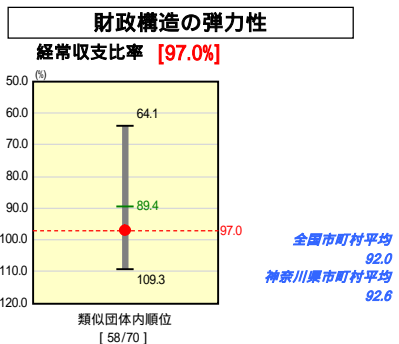
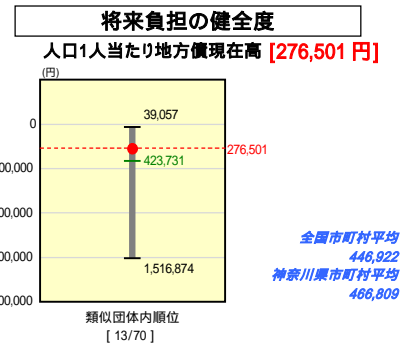
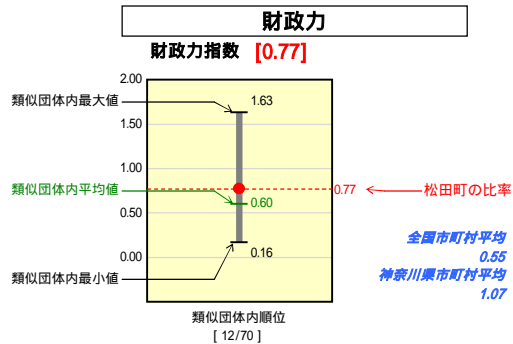


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

神奈川県 松田町

人口	12,227	人(H20.3.31現在)
面積	37.75	km ²
歳入総額	3,924,338	千円
歳出総額	3,760,936	千円
実質収支	137,373	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレズ指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年度地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人員費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人員費には事業費支弁人員費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】 町税の微増等により基準財政収入額が増加傾向にあり、これに伴い財政力指数は近年少しずつながら上昇し、類似団体の平均値を0.17上回っている。公債費等の増加により義務的経費全体は増加傾向にあるものの、歳出全体の抑制だけでなく、町税等の自主財源の確保等により現在の水準を維持もしくは上昇させられるよう努める。

【経常収支比率】 歳出比較分析表を参照。

【人口1人当たり人員費・物件費等決算額】 人口1人当たり決算額は前年度と比較すると5,352円減少しているが、これは、物件費及び維持補修費において前年度決算額を下回ったためである。また、類似団体との比較においても平均値を下回っている。今後も経常的にかかる経費の見直しや定員適正化計画による職員の削減(5年間で4.8%減)等を実施し、さらなる抑制を図っていく。

【人口1人当たり地方債現在高】 対前年度比減となっており、全国市町村平均及び類似団体平均と比較しても低い数値となっている。その要因としては、普通建設事業が減少傾向にあったことがあげられるが、近年は、大規模事業による大きな地方債の発行や臨時財政対策債の元金償還が本格化していることなどから、今後も引き続き、発行の抑制等に努めていく。

【実質公債費比率】 類似団体平均を5.1ポイント下回ってはいないものの、対前年度比では0.4ポイント上昇しており、過去に借入れた臨時財政対策債や庁舎建設、道路整備事業による起債の償還が始まり、今後、数年間で起債償還のピークとなる。今後は、町税や地方交付税の減も予想されるため、引き続き、適切な町債管理を行うことで数値の急激な上昇を抑えるよう努める。

【人口1,000人当たり職員数】 類似団体平均を下回っているものの、前年度と比較して0.07人上昇している。人口は年々減少する傾向にあることから、定員適正化計画に基づく、定年退職の不補充、計画的な採用、各施設の管理方法の見直し等により、今後も引き続き職員数の削減を図る。

【ラスパイレズ指数】 平成17年度からの第3次行政改革に基づく定員適正化計画による職員の削減(5年間で4.8%減)等をはじめ、常勤特別職の報酬削減や職員定数減による給与の削減等を実施している。今後は、職員の高齢化が進み給与の増が見込まれる中、引き続き人員費の抑制に努める。